

議事録

名称	令和 8 年度 菊間地区学校適正配置地元代表協議会（第 6 回）
開催日時	令和 8 年 9 月 30 日（水）19 時 00 分～20 時 50 分
開催場所	菊間公民館 2 階 会議室
出席者	【委員】 会長 外 16 名（教育長、副教育長を含む）
	【その他】 菊間支所長
	【事務局】 今治市教育委員会、菊間地域教育課
傍聴者	12 名
議題	1 望ましい学校のあり方について
	2 意見交換

議事録（要点筆記） 文中（※）は補足した内容

会長	本日はお忙しいところ第 6 回菊間地区学校適正配置地元代表協議会にご参集いただきありがとうございます。 協議会開催にあたり、会議の傍聴希望がございますので、許可してよろしいか。 （委員 了承）
会長	それでは許可する。 （傍聴者 着席）
会長	ただいまから第 6 回菊間地区学校適正配置地元代表協議会を開催する。本日の参加委員は、欠席者は 2 名のみのため、（定足数に達しており）本会が成立していることを報告する。 それでは、本日の会議録署名人を事務局から指名する。
事務局	本日の会議録署名人は、きくま保育所亀岡地区代表・柏木委員、きくま保育所菊間地区代表・村越委員にお願いします。 （両名 了承）
会長	それでは、議事に入る。 前回までのご意見に対して事務局からの説明を求める。 （事務局 参考資料__通学バス通行経路図、参考資料__菊間小学校雨

漏り対策、配布資料__菊間小学校訪問後の（亀岡小学校）児童・保護者向けアンケート結果を説明）

会長

前回の第5回協議会で、事務局から統合場所として菊間小学校を念頭に置いた提案があった。これについて、本日は皆さんの意見を伺いたい。まず、菊間小学校に決まったわけではなく、これからの議論になることを認識いただきたい。また、どちらかに吸収合併するわけではなく、統合場所がどちらになっても、それぞれの場所で良い学校にしていこうというスタンスで議論いただきたい。

本日は、皆さんのそれぞれの立場での意見を順番に伺いたい。PTAを始め、自治会など、各団体で議論されてきたことがあると思うので、そこを中心に話していただきたい。

他人の意見に対し攻撃的な意見はできるだけ避けていただきたい。

前回の事務局からの提案についてだけでなく、それぞれの立場で議論してきたことや思っていることがあれば、あわせて発言いただきたい。

（会長が、順に発言者を指名）

A委員

まず、確認だが、亀岡にするか菊間にするかという意見も言うのか。

会長

統合場所をどこにするかは、言わなくてかまわない。

A委員

始めに、事務局から（菊間小を視察した亀岡小保護者向け）アンケート結果が配布されたが、結果報告だけでなく、寄せられた要望への対応方針や事務局の考えは示さないのか。

事務局

亀岡小学校の児童・保護者から寄せられた施設面の意見については、これまでの学校統合と同様に、統合先決定後に必要な改修や修繕を行う方針である。現時点では統合場所が未定のため、今後アンケート結果を踏まえて両校の施設状況を調査し、必要な箇所の修繕を検討していく。

A委員

アンケートでの要望について、結果の報告だけでなく、事務局が前向きに対応を検討していることを示してほしい。

事務局

資料の提示だけで終わってしまい、申し訳なかった。このような内容は、当然、前向きに検討していきたいと考えている。

A委員

少子化による学校統合はやむを得ないと考えるが、子どもを中心に考

	え、統合後の課題についても前向きに解決策を検討してほしい。両校の教育環境に大きな差はないため、子どもたちが学校生活を楽しめるような統合を望む。
B 委員	菊間小学校の雨漏り対策の実効性やバス通学時の児童の見守り体制に不安がある。雨漏りについては、これまでも対応しているが解消されていない。また、バス通学については、教員が学校内の業務で対応できない中、バスに同乗できる大人の確保ができるのか憂慮する。統合先が亀岡小学校となった場合でも、遠距離から通学する児童への通学バス支援を行い、バスを学校前まで乗り入れるなど柔軟な対応を検討してほしい。
C 委員	施設面の要望を諦めずに出すことで、少人数校だからこそ恵まれた教育環境の整備に努めてほしい。また、子どもたちが自ら校舎の清掃に取り組むという教育を継続しやすい施設づくりを進めてほしい。
D 委員	統合後の具体的内容は、まず統合場所を決定した上で検討した方が効率的である。同じ議論を繰り返すのではなく、統合先に応じた具体的な課題や対応策を話し合うべきだと思う。
E 委員	子どもたちが安心安全に登校でき、学校生活を快適にできることを一番に決まっていけばよいと常々思っている。
F 委員	これまで築いてきた保育所と小学校の連携が、統合案（年１～２回の連携）では十分に強化されるのか疑問である。旧亀岡保育所では亀岡小学校と季節行事など様々な連携を複数回行い、入学前から子どもたちが安心できる環境を整えてきた。子どもにとって小保連携は価値があり、オンライン連携や電車移動がしやすい小中連携と比べると、小学校は保育所に近い方が望ましいため、（事務局が）菊間小学校を統合校候補とした理由を知りたい。
G 委員	子どもを最優先に考えるなら、D委員の発言にあったとおり、まず統合校を決定し、その後に具体的な検討を進めるべきである。また、本日亀岡地区で運動会があったが、協議会の日程についても子どもへの配慮の観点から見直すべきだったと思う。
H 委員	運動会は雨天順延により亀岡小学校長の判断で本日開催されたものであり、明日・明後日の菊間小学校との協同学習を優先して開催日を決定したため、協議会との日程重複については特に配慮しなかった。

G 委員

学校側が運動会の開催日をずらすのではなく、なぜ協議会の日付をずらさなかったのかというのが、私の意見である。運動会が今日になったことは仕方がないことである。

会長

協議会としては、決めた日にやりたいと思っていた。多少、無理があるとしても、変更することはしなかった。

I 委員

亀岡小学校PTAからの施設改善要望を受け、既に市へ改修要望を出している部分もあるが、現在通う子どもたちのため、できる部分から改善に取り組みたいと考えている。また、通学バスの新たな経路案を評価している。統合先にかかわらず子どもの安心安全を最優先に、バスの乗降場所などについても柔軟な対応を検討したい。例えば、通学バスの転回については、統合校が菊間小学校の場合、運動場の一部をバス停留所とする案も個人的には考えている。

H 委員

事務局案（菊間小学校を統合校とする案）は概ね合理的と感じる一方、前回資料中の「居住誘導区域」という言葉から、地域の過疎化・人口減少について考えさせられた。また、通学時の安全性確保を最優先に、バス停の安全な待機場所や信号機など横断設備の整備を進めてほしい。統合後も地域行事や保育所との連携を維持・充実できるよう、送迎バスやタクシーといった地区間の移動手段の確保など工夫を行い、子どもたちと亀岡地区の住民が、これまでと同様に関わることができる機会を工夫して確保してほしい。

小保連携は亀岡小学校の特徴であるが、今日の（亀岡地区）運動会では、菊間地区在住の保育所園児も保護者と一緒に初めて参加いただくという良い光景を目にした。保育所との連携も、年1～2回ではなく、移動手段を工夫して、今の連携が残せるようにしていただきたい。

J 委員

菊間小学校を訪問した亀岡小学校保護者・児童アンケート結果を踏まえて、保護者の要望への対応方針や対応可否を示してほしい。そして、統合場所の決定期限を示してほしい。また、居住誘導区域というからには、地域文化や小学校の継続のため、人口施策をあわせて検討してほしい。

通学路の安全対策や地域・保育所との連携の維持、小中連携の内容について詳しい説明がないと納得できない。

通学バスについては、亀岡地区の国道沿いで児童が乗降するのは良いと思うが、待機場所の屋根設置や通学路へのガードレール設置など、ル

K委員

ート案以上に安心につながるので、案を提示してほしい。

また、統合校での学校掃除への手伝いを地域に依頼する手順として事務局から地域へ声かけするなど、考えてほしい。

また、保護者と事務局が直接意見交換できる機会を設け、将来を見据えた学校づくりを進めてほしい。

亀岡地区での地域との連携や学校への支援は、長年の積み重ねによって成り立っており、(菊間小学校を統合校とする場合)統合後も簡単に再現できるものではない。(亀岡地区で行われている取り組みは)自分たちが住む地域だから協力してくれており、当たり前で離れた地区でも手伝ってくれるとは思ってほしくない。

亀岡地区の保護者や児童が菊間小学校を訪問し、児童から掃除すべきという意見がでるほど、施設的に気になる点があった。これは、菊間小学校の教員や児童の責任ではなく、恒常的な雨漏りなど、学校の構造的な要因によるもので、今後、施設的に直すべき点である。

また、今の時点の(事務局提案)資料を保護者や地域に見せても亀岡地区の人は納得しない。統合場所を決める前に、保護者や地域が納得できるよう、統合によるメリットや課題への対応策を具体的に示して、(亀岡)地区の人が納得できるよう丁寧な説明資料を作成してほしい。

会長

様々にご意見をいただいたが、これに対し、事務局から回答できるところがあればお願いしたい。

事務局

全ての質問に答えきれず申し訳ないが、かいつまんで回答させていただく。小学校と保育所の連携について、資料には年1～2回と記載しているが、回数を限定したものではない。今後、保育の部署とも協議を進め、具体的に検討していきたい。バスについて、待機場所や横断歩道、信号など安全施設だが、10年前に朝倉で学校統合があった際には、県の方とも協議して、停止線を引いたり、児童が待機・乗降する集会所にひさしをつけたりした。様々な状況があって全てに対応することは難しいかもしれないが、そういった前例もあるため、できる分については、取り組んでいきたい。

施設改修について、この工法で雨漏りが止まるのかという質問だが、これまでの対応は、50万円程度の小さな修繕であったのではないと思う。今回は、今治市の施設を担当する部署でも現地を見て改修内容を提案しているので、先ほどのアンケート結果やこちらが把握している内容も含め、建築部門と共有して、対策を考えていきたい。

アンケートで出た要望の対応可否を求められた。要望は全て拾い上げ

	協議を進めたい。施設改修を含め、全てに対応することは難しいが、打ち返しは誠実に行わせていただきたい。 バスに同乗する先生がいるのかという質問について、現在、市内では、バス通学の際に先生が同乗している事例はない。
会長	ありがとうございました。
L 委員	教育委員会から出された教室配置案には、交流室が設けられている。様々な年代の人が利用できる交流拠点があるのは非常に良いが、教員の負担にならない管理体制や不審者対策を考えていただきたい。 また、菊間町の中心部に近いから統合場所は菊間小学校がよいという意見は引がかかる。支所との連携や地域との関係からメリットもあるが、行政上の利便性と、子どもたちの教育環境、通学、施設規模、将来の維持管理費を比較したとき、どちらをより重視すべきなのかを、明確にしていきたい。 菊間小学校は700人規模の学校が現在70人程度で10分の1。亀岡小学校は200人規模の学校が40人程度で5分の1である。(菊間小学校では) 掃除が行き届かないなどの課題が起こりがちである。統合校がどちらになっても、出来る事をお願いしたい。 また、施設見学時には、プールの低学年用レーン数などが気になった。 子どもの教育環境を最優先に考えるとともに、急速な児童数減少を見据えた将来の学校運営を考えていくべき。なお、保育所・中学校との連携は、現在、資料に記載ある以上に行っており、統合後、校長中心に学校経営の中で考えていくことである。
会長	事務局から、これについて何かないか。
事務局	交流室は統合後のPTAの交流促進を想定した一案であり、必ず設置するものではない。シャッターで間仕切りして空間を活用する、一つの例として提示した。また、児童数の減少は両地区共通の課題であり、その対応のために統合協議を進めているが、統合場所の違いによって人口減少の傾向が変わるものではないと考えている。
会長	一通り、皆さんの意見を伺ってきたところだが、意見交換として、今まで出た議論の中で、話したいことがあればお願いします。
事務局	亀岡小学校のアンケートで多かった意見について、お答えできる点をピックアップしてお答えする。

雨漏り箇所、校舎全体がカビ臭いことの対策は、最初に説明した雨漏り対策である。これについては、今後、より良いものを考えていく。

内壁及び廊下の老朽化については、通常の大規模改修を行い、統合校がどちらの学校になっても対応するよう考えている。

音楽室の横のトイレについては、構造及び利用頻度の問題であり、そもそも必要であるのかという点から検討する必要がある。他校でも同様の問題を、トイレのフルリニューアルによって対応している事例もある。まず、必要かどうかの議論が必要である。

ガラス天井については、最初に説明したとおり、飛散防止シートを張る。

玄関構造は、類似の構造が市内に7小学校、4中学校あるため、我々としては、特別な構造であるとは考えていない。

3階廊下の暑さ対策については、申し上げた通り、光を通さない防水シート加工により日光の透過を低減させることで対応できる。

男子トイレの構造上、廊下から中が見える点については、一長一短である。中の状況が把握しやすいという点を優先する考えもあるため、対応としては、のれんのような目隠しをする、横に開くタイプの上下が空いた中間だけのドアを取り付けるという方法もあるので、協議させていただきたい。

図書の蔵書については、菊間小が10,000冊強、亀岡小が8,000冊で、菊間小学校の方が実際には多い。面積にそれほど差はなく、構造上の問題であると考える。

その他、トイレの個数が少ないと意見があるが、亀岡小学校の便器は45基あり、人数に対して、市内でもかなり多い。乃万小学校だと618人に対して、便器数38基である。そのため、菊間小学校が少ないとは考えていない。日高小学校で48基、菊間小学校が40基程度である。宮窪小は22基、大三島小は14基など、かなり少ない状況もある。このあたり、施設更新のタイミングで適正な数と設置できる場所を合わせて考えていけたらと思う。

会長

菊間小学校PTAで、亀岡小学校を施設見学した時のご意見などを（他の保護者から）聞いていれば願います。

G委員

（亀岡小学校での児童・保護者向けアンケートの結果について）菊間小学校から、これと同様の資料を、協議会で出してほしいと言え、出していただけるのか。学校でアンケートを実施して資料を出すことについて、亀岡小学校側の資料はよく出てくるが、菊間小学校で同様のことを行うことは可能なのか。

会長	アンケートをまとめていただけたら、協議会で議論することはできる。
G 委員	そのようなことも、菊間小学校PTAは知らなかった。
会長	保護者のアンケートをどのようにまとめていくか、難しいところもあるかもしれないが、菊間小学校でもある程度、保護者の意見を、今の段階で聞いていただけたらと思う。
L 委員	菊間小学校の保護者も、何名か、亀岡小学校の施設を見に行つたと聞いているが。
G 委員	それは把握している。しかし、菊間小学校でも資料を作れば、協議会で出していただけるのかと質問した。亀岡小学校は、会長、副会長と連携を取りあって、資料を出しているのではないのか。菊間小学校にも、そのような案内をしていただけたら、資料を作る。これは、PTAから一方的に依頼してよいのか。
J 委員	代表として、個人的な意見を言うつもりはないので、保護者の意見を吸い上げてもらい、発表するようにしている。口頭では伝えきれないので、アンケートを取っている。全体の意見をここで出すのが一番よいと思い、PTA本部に呼びかけて、動いていただいている。
事務局	今回のアンケート結果は、亀岡小学校PTAが独自に取られたもので、事務局が加工したものではない。他の（統合検討対象校を有する）地区では、それぞれのPTAで（アンケートの）文案を作って実施したり、事務局で（アンケートの）文案を作成して、それを配布したりといった方法など、やり方はそれぞれある。今後、（PTAから）ご相談いただくか、事務局から提案させていただき、皆様の意見を集約することは可能である。
会長	その他、委員からご意見はあるか。
C 委員	片方の小学校がアンケートを実施する場合は、もう片方でも同様のアンケートを実施し、その結果を併せて提示するなど、双方の意見が公平に反映される形で資料を作成し、協議を進めてほしい。
K 委員	学校訪問後のアンケートは、PTAとして保護者や児童の意見を幅広く

	把握し集約するために実施したものであり、そこで出された意見は菊間小学校への批判ではなく、教育委員会に対して施設改善や課題対応を求めるためのものと考えている。
C委員	協議会で資料として扱うのであれば、一方の学校だけでなく両校で同様の資料やアンケート結果をそろえて提示し、公平な形で議論を進めるべきであり、事務局にはそのような運営をしてほしい。
会長	確かに、C委員の言うとおりである。菊間小学校PTAは、施設に限らず、いろいろ議論があれば、取りまとめをお願いしたい。
A委員	前回、委員から求めたことにより事務局提案が出された。それによって、一定の方向性は示されたと認識しているため、その内容を踏まえた議論を進めるべきではないか。
会長	前回示された事務局提案について、より多くの委員から意見を聞きたい。
D委員	事務局から提案が示された以上、議論を振り出しに戻すのではなく、その内容を土台として前向きに検討を進めていくべきだ。
会長	事務局提案を踏まえて今後の協議をどのように進めるかについて、採決を行う方法や提案内容を見直して再提案を求める方法などが考えられるため、委員から議論の進め方について意見を求めたい。
K委員	事務局提案に反対しているのではなく、統合先を菊間小学校とする理由やメリットをより具体的に示し、亀岡・菊間の双方が納得できる内容にしてほしい。また、統合によって亀岡小学校の子どもたちの教育環境が低下しないよう配慮するとともに、菊間小学校PTAには、菊間小学校の良さや魅力を十分に示してほしい。
会長	最初にも言ったように、吸収合併ではないので、どちらの学校に行っても、どのようにすれば良い方向に行くかという議論を進めていただけたらと思う。
J委員	事務局は、なぜ菊間小学校を選んだのか、もっと情報を追加して、掘り下げた話は、今日はないのか。前回の最後に、事務局提案資料が配られて、数分で終わってしまった。結局、次の会議は、菊間小学校を統合

	先として進めていくのか。この先のプランは、どうなっていくのか。今日、提案について掘り下げた話はないのか。
事務局	前回の事務局提案では菊間小学校を統合校として示したため、今後はその案を前提に具体的な課題や要望への対応策を事務局から示しながら議論を進め、合意に進めたい。委員や保護者の理解と納得を得られるよう、次回、より踏み込んだ統合案を提示したいが、いかがか。
L 委員	これまでの教育委員会からの説明では決め手にならない。 正直な話、元校長や現役校長などと望ましい統合校の場所を意見交換したところ、亀岡小学校を選択する方が多かった。 市として、戦略的に菊間小学校を統合場所に選んだ理由を説明していただきたい。
事務局	前回、そして今回、ご説明させていただいたとおり、お示ししている内容がすべてである。
G 委員	菊間小学校に関する否定的な意見が繰り返されることには複雑な思いがあるが、感情論でなく、今治市から示された事務局提案を尊重し、その内容を踏まえて協議を進めるべきだと思う。
L 委員	市の選定理由を説明してほしい。
G 委員	私は、亀岡小学校のことを悪く発言したことは絶対はない。しかし、菊間小学校がどうこうという発言は出てくる。菊間小学校側は良い思いをしていない。
L 委員	そんなつもりはない。
G 委員	そんなつもりはないことは、わかっている。
L 委員	今治市で考えていることを出していきたい、本当に。何年も先のことを考えていることを。
教育長	先ほど、事務局から、(統合場所の選定理由は)これまで説明したとおりと回答したが、言い方を変えて、私からも説明させていただく。 教育委員会としては、菊間、亀岡の両地域が協力して子どもたちのより良い教育環境をつくってほしい、先ほどからお話を伺う中で、それぞ

れの立場から、子どもたちのより良い教育環境を思っていることは一致していると認識している。ただ、教育環境の視点も、それぞれの立場で様々であったように思う。

教育委員会としては、前回お示ししたとおり、少子化の中、小学校を集約して、二つの地域が一つの地域として、一緒になって育ててほしいという思いがあつての提案であつた。今回、それぞれの立場のご意見を聞く中で、まだ、理解がいかないところがあるとのことなので、そういったところは、お示しできるように検討していきたいと思っている。

これから、5年先、10年先に、小学校と中学校を菊間町に残していくために、さらに子どもが少なくなったとき、小学校・中学校が、単独で残っていくかどうか、小・中が一緒になるべきなのか、そういうところも、教育委員会としては考えてのご提案であつたが、改めて、納得いただけるような提案をさせていただけたらと思う。

L 委員

ありがとうございました。先ほど言われた、小学校、中学校が少なくなる中で、先々、何年も先には、小中が一緒のところで教育していくとか、そういう捉え方をしてよろしいか。

教育長

地域の活性化のためには、子どもたちだけでなく、施設、学校の広さなどに応じて、市長部局と連携し、少子化だけでなく、高齢化していく中で、それぞれの地域がどのようにより良く縮充していくかというところもあるため、施設の利用、跡地利用についても、地域にプラスになることを検討していきたいと考えている。

会長

先ほど、教育長から説明があつたが、次回、もう少し踏み込んだ提案をいただくということでよろしいか。それを、皆さんに判断していただくということで、どうか。

本日は、時間も押し迫ってきたので、次回に、できれば、事務局の提案を良しとするかどうか判断していただきたいと思う。

事務局の方には、できれば、事前に資料を配布していただけたらと思うので、よろしくお願いします。

これについて、皆さんから意見はないか。

なければ、本日の議論はここまでとさせていただく。

K 委員

先ほどC委員からも意見があつたが、菊間小学校でアンケートを実施するか。

G 委員

(アンケート結果を) 出す必要はあるか。会長、副会長が、同様の資

	料を菊間も出すように言うのであれば、出すが。
K 委員	会長、副会長ではなく、実際に学校訪問された方がどう感じたかというところを、亀岡がこのように提出させてもらったので。
G 委員	申し訳ないが、これ（アンケート結果）を、逆の立場から見たらどう思うか。
K 委員	亀岡から見た意見を言っているだけで、菊間から意見が一つも出ていない状態で、逆の立場というのであれば、逆もそうである。菊間からの意見を亀岡に投げてほしい。
G 委員	それなら、そのように出すので、（会長・副会長から意向を）言ってくれと言っている。今から出したら、また、次のときに、菊間の資料だけ出るが。
K 委員	良いのではないか。
G 委員	これを見て、私は、菊間から（亀岡へ）の意見を出す必要はないのではないかと思っている。嫌な思いをしないか。それなら出すが。
K 委員	良いのではないか。
G 委員	だから、会を進める立場側の人間から、このような資料を出してほしいというなら、動く。会長・副会長がそうだろう。
L 委員	会長・副会長が、（亀岡小学校PTAにアンケート結果を）出すように言ったわけではない。
G 委員	それは、わかっている。だから、それを、菊間小学校PTAにも出すようにと言ってくれたら出すと言っている。
L 委員	亀岡小学校を見て、いろいろ気づくことがあったら、言ってほしいということである。これは、亀岡小学校の人が、菊間小学校校舎を見学して、気づいたことを書いている。両方（の意見）を合わせて、ちょっとでも良い校舎へ、意見を集約していきたい。
G 委員	会長と副会長がそう思っているなら、亀岡小学校PTAがこれを出すと

	きに、菊間小学校PTAにもこれを出すように言ってくれたらよかったのではないか。
L 委員	今、C 委員が言ったことか。
G 委員	そうである。それを言っている。
事務局	今回、菊間小学校からも同じような資料があった方がよかったという意見はごもっともであるが、先ほど、私が説明したように、次回、菊間小学校で、こういう学習をする、バス路線はこうなる、学校の運営はこうなる、保育所との関係はこうなる、というような最終的なプランをお示しし、それでもって判断していただけたらと思うので、あえて、アンケートを取っていただく必要はないのではないかと思います。
G 委員	私も、次に、もっと踏み込んだ資料を出していただくタイミングで、アンケート結果を出す必要はあるかということを探ねている。出せというなら出す。会長、副会長、いかがか。
L 委員	まだ、現時点では、統合場所が決定したわけではなかったから、(亀岡小学校PTAは)施設見学をしての意見を出してくれたのだと思う。事務局提案は、菊間小学校案に決まったわけではない。だから、今度は、菊間から、亀岡小学校を訪問した人の意見を吸い上げるのもPTAの役割であると思う。それで、意見を出してくれたら、両小学校の直すべきところなど、両方の意見を合わせて、良い校舎を作っていく。そのためのアンケートである。そのことを理解いただきたい。
G 委員	それはわかっている。
L 委員	そういう意味で考えていただきたい。
事務局	次回、事務局から資料を配布するので、ご協議いただきたくよろしくお願いします。
会長	次回の開催日程について、調整をお願いします。 (日程調整)
会長	それでは、次回は11月26日木曜日午後7時からとさせていただきます。

他にご意見などはないか。

J 委員

もし、今後、来年度なども、このように共有する場があるなら、お互いに、校舎の直すべきところなどを共有した方がよい。意見として投げかけられる一つの案として活用してほしい。菊間小学校が、雨漏りはたいたことないと言うのであれば、亀岡小学校側の考えすぎだったのかと思うし、そういう材料を出し合って、よりよいものにしていきたい。二人（会長、副会長）も考えていろいろなことをしていただいていると思うが、事務局が間に入ってもらうのが一番よいと思う。

教育長

事務局も提案させていただくが、最後に大事になるのは、一つの地域として協力するということで、地域で子どもたちをどう育てるかである。事務局からの環境の条件提示だけでなく、それを受けて、どのようにしていくかが、一つになって子どもたちを見守っていくための建設的な意見を出すということではないかと思うので、よろしく願いしたい。

会長

教育長のおっしゃるとおり、やっていこうと思うので、皆さん、よろしくお願いします。

他にないようなら、本日の協議会は終了とさせていただく。

長時間にわたり誠にありがとうございました。

これを持ちまして、第6回菊間地区学校適正配置地元代表協議会を閉会する。

以上、会議の次第を記し、その相違ないことを証するため署名する。

令和8年10月2/日

柏木

委員

柏木 千晴

村越

委員

村越 恵梨